

市原市出身の有名人一覧表

REV.10 2025年4月20日

市内在住 我部山民樹

(かべやまたみき)

私には情報量が限られている上に、独断と偏見が多々あると思いますが、ご容赦ください。情報を戴ければ随時追記した
敬称略
と思っています。

生 年	名 前	プロフィール	出身地/卒業校
1607年	姉崎藩立藩	11月、徳川家康の次男である結城秀康の次男・松平忠昌（11歳、当時は虎松丸、のちに越前藩主となる）が姉崎に1万石を与えられた。これにより姉崎藩が立藩。 1615年、廃藩となる。	
1616年	姉崎藩再立藩	忠昌の弟の松平直政（のちに松江藩主となる）に1万石が与えられ、姉崎藩が再立藩。 1624年、直政が大野藩に転出し廃藩となる。	
不詳 江戸時代の 元禄（1688 ～ 1704 年）？	義僕・市兵衛	『おたけ騒動』に絡み、姉崎村名主・次郎兵衛の下僕・市兵衛が遠島になった主人の御赦免を長年にわたり幕府に願い出て、その並外れた忠義心が幕府に認められた結果、主人らが御赦免となった。市兵衛は儒家の林大学頭（はやしだいがくのかみ）と荻生徂徠（おぎゅうそらい）によってその忠義が世に喧伝され、俳人・宝井其角（たからいきかく）の句にも読まれ、江戸中の話題となり、昭和になってからも直木賞小説の題材となった人物である。後に苗字帯刀を許され姉崎村の名主となり斎藤市兵衛を名乗る。	市原郡姉崎村

		『おたけ騒動』とは、1695年上総国市原郡深城村で害獣の猪鹿を駆除中に山猟師が鉄砲で百姓の女房・おたけを鹿と間違えて殺してしまったことに始まる。関係する近隣の村の名主らが相談の上、お上に届け出ずに事を隠密に済ませたことが露見し、勘定奉行・荻原重秀（おぎわらしげひで）によって裁かれ、猟師は死罪、姉崎村の名主・次郎兵衛ら10人が伊豆大島と三宅島に遠島、9人が追放となり、そのうえに土地家屋没収という驚天動地の一大事件である。（『市原の「おたけ騒動・義僕市兵衛記」雑感』より）	
不詳、元禄？	姉前屋四郎左衛門 （あねさきやしろうざえもん）	姉崎出身で、江戸日本橋小網町で穀物問屋を営む人物。「おたけ騒動」によって遠島の刑に処罰された名主達の赦免運動をし、その成就を祈願して、元禄15年（1703年）、手水鉢（ちょうずばち）を姉崎神社（古くは姉前神社）に奉納したと言われている。（鉢は神社で現存している。）	市原郡姉崎村/
1781年	五井藩立藩	伊勢西城藩主の有馬家（1万石）が藩庁を五井に移すことで成立し、1842年に下野吹上藩に転出するまで5代約60年間存続した。筑後久留米藩主家の分家である。	
1792年	立野良道	国学者（『江戸近海図志略』を著す）引田村の名主と代官をつとめる	市原郡引田村
1817年 （文化14年）	小柳常吉 （高石桂治）	大相撲力士（大関） 1854年（嘉永7年）ペリー提督率いる黒船が再び浦賀に来航した際に一行に相撲を見せることとなり2月24日横浜で土俵入りや稽古相撲を見せた。またデモンストラーションとして五斗俵を差し上げて歩いてみせた。小柳は力自慢のアメリカの水兵を3人同時に相手にし、1人を差し上げ1人を小脇に抱え1人を脚下に踏みつけ彼等の肝を奪ったという。	市原郡上高根村

1827年	鶴牧藩立藩 (椎津村)	石高は1万5千石。鶴牧藩初代藩主・水野忠韶(みずのただてる)は、徳川家康の母である於大の方の兄で駿河沼津藩主・水野忠清の分家である。1871年の廃藩置県まで存続した。	
生年不詳、 入幕が 1854年(嘉 永6年)	姉川浪右エ門	大相撲力士(前頭) 雷部屋に所属	市原郡姉崎村
1834年 (天保5 年)	盤石力勝 (ばんじゃく りきかつ本名; 古茶)	大相撲力士(前頭筆頭) 美男としても知られ、女性のファンも多かった。また美男を活かして錦絵も多く描かれ、2代歌川国政によって描かれた着物姿の錦絵が現存している	市原郡養老村
1859年	石川倉次	教育者(ルイ・ブライユが考案した6点点字を基に日本語に翻案して全国を回り点字を広める等、今日の日本語点字の基礎を築き、「日本点字の父」といわれている。	浜松市生まれ市原郡鶴舞 出身/鶴舞小学校、千葉師 範学校卒
1861年	天羽南翁	市原郡国吉村(現在、市原市東国吉)の医師天羽玄尚の四男として生まれ、七歳で日蓮宗の僧籍に入り、経学や国学を修めた後、江戸の儒学者東条一堂の門下に入り、経学を極めた。僧としては浜野の泉福寺などに身を置いたが、幕末には勤皇僧として活躍し、多くの志士を援助して幕吏から匿った。1883年、還俗して家塾を開き、地域の子弟の教育にあたった。 後に川上南洞らにより泉福寺に「天羽南翁先生の碑」が建立された	市原郡国吉村

1867年	王政復古の大号令を發布	天皇中心の新政府樹立を目指す宣言	
1873年 (明治6年)	八代国治	・歴史学者。文学博士(國學院大学教授等を歴任。長慶天皇在位の結論を出したことで知られる) 帝国学士院恩賜賞受賞。勲六等瑞宝章追賜	市原郡上高根村/国学院大卒
1877年 (明治10年)	神谷良平	・医師 ・政治家(千葉市長)	市原郡/千葉中学校、千葉医学専門学校
1878年	高石真五郎	・ジャーナリスト ・実業家 国際オリンピック委員会(IOC)委員。毎日新聞社最高顧問。特殊法人日本自転車振興会第2代会長	市原郡鶴舞/慶応義塾大卒
1878年	宮原立太郎	・日本のX線医療の先覚者(その業績を医学雑誌への発表や、講演を行い、X線の普及・発展に貢献) ・社会事業家(その晩年に、虚弱児童養護協会を創設し、社会事業に尽力)	市原郡総社/千葉県尋常小学校、第1高等学校、千葉医学専門学校卒
1881年	鴫田恵吉	・教育者(千葉県鶴枝小学校長、神奈川県実科高女校長など) ・地方郷土史家(『房総叢書』、『千葉県教育史』など千葉県の歴史と民族について多くの著作を発表)	市原郡草刈村/千葉師範学校、日本大学卒
1882年	鈴木隆	・政治家(衆議院議員) ・実業家(鈴木商会株式会社社長、大日本土地株式会社社長、鈴木隆同族株式会社社長などを歴任)	市原郡/東京府師範学校卒

1889 年	緋緘祐光 (ひおどしすけ みつ、本名；鈴木 勇作)	大相撲力士（東前頭） 二十山部屋に所属。足を骨折し廃業	市原郡/
1900 年	小沢久太郎	内務官僚。政治家（参議院議員 3 期、第 19 代郵政大臣）	市原郡加茂村/東京帝国大 卒
1903 年	立野信之	小説家（五井町役場に就職するも 2 年後に連隊に入営。連隊経験を元に、二・二六 事件を題材にした『叛乱』で直木賞受賞）	市原郡五井町平田/旧制関 東中学校（現敬愛高等学 校）中退
1905 年	春日井梅鶯 (安藤金作)	浪曲師（東海林太郎のヒット曲「あかぎの子守唄」を秩父重剛が浪曲に脚色し梅鶯 が演じて一躍スターダムに。その後もレコード「天野屋利兵衛」「南部坂雪の別れ」 「越後獅子祭り」「残菊物語」などがヒットし得意ネタとなる。美声とリズムカルな 「梅鶯節」が特徴。日本浪曲協会会長を務めた。	市原郡鶴舞/
1907 年	始関伊平	商工官僚（資源庁長官他）・政治家・弁護士（建設大臣などを歴任）	市原郡今津朝山/東京帝国 大卒
1907 年 (明治 40 年)	菅野儀作	政治家（八幡町長等を経て参議院議員）元総理大臣の田中角栄が「千葉のことは菅 野に話を通せ」と言っていたとされる。 飯香岡八幡宮にその銅像が置かれている	市原郡八幡/八幡中 3 年修 了
1914 年 (大正 3 年)	稲葉襄	経営学者（神戸大学名誉教授、広島経済大学名誉教授。経営学博士。専門は中小工 業経営・家庭経済学・仏教的企業経営学。神戸女子大学、武庫川女子大学、神戸女 子薬科大学でも非常勤講師を務めた。	市原郡鶴舞/神戸商業大卒

1923年	関東大震災発生		
1929年	小野満	音楽家（ベーシスト、バンドマスター、指揮者。『スイングビーバーズと共に17年間にわたりNHK紅白歌合戦では白組の演奏・指揮を担当）	市原郡磯ヶ谷/姉崎小、千葉工業高校卒
1930年	小出善三郎	・政治家（元市原市長） ・事業家（丸直社長） 市原商工会議所会頭	市原郡/成蹊大卒
1930年 （昭和5年）	葉山修平 （安藤幸輔）	・作家；1960年、短編小説『日本いそっぷ噺』が第43回直木賞候補となる。同年12月、『日本いそっぷ噺』（大和出版）が出版された。1963年、短編小説『現在完了』が第16回人学界新人賞佳作を受賞。 ・教育者；開成高校教諭、千葉大学講師などを経て、駒沢短期大学教授、同大学名誉教授	市原郡/千葉師範学校卒、東大修士課程
1941年	岡田武夫	カトリック教会聖職者。カトリック浦和司教区（現カトリックさいたま教区）第3代司教とカトリック東京大司教区の第8代司教を務めた。洗礼名は（ペトロ）。	市原郡/東京大卒
1941年	千家和也 （村越英文）	・作詞家（『終着駅』が大14回に本レコード大賞の作詞賞を受賞。アイドル歌謡曲からアニメソング、大人の歌と幅広く作詞をしている） ・小説家（『だから言わないコッチャナイ』で、第60回オール讀物新人賞を受賞）	市原郡/市川高校卒、早稲田大学卒

1941年	周防郁雄 (すほういくお)	芸能プロモーター、バーニングプロダクション代表取締役社長他、巨大バーニンググループのトップ、そして「芸能界のドン」として知られる。	市原郡不入斗/市川高等学校卒
1945年	石川松五郎	写真家（高校野球を25年余り取材、ポスターやカレンダー、市町村広報誌（紙）、書籍の表紙、グラビアなどに掲載。また養老川流域をテーマとした写真を数多く撮影し、写真展も多数開催している） 市原市写真連盟事務局、NPO法人「もったねえよ・いちはら」理事、「西広環境保全会」、「ちば四季の会」所属 著書・写真集；「養老川」、「小湊鉄道と養老川」他。	市原郡西広/市原小学校、五井小学校、・・中学校、・・高校、・・大学卒
1946年	佐久間隆義	政治家（元市原市長）	千葉県（市原郡）/市原高校、日本大学卒
1947年	相川浩	三井造船を定年退職後、市原市更級の自宅にギャラリー・和更堂を設立、多くの郷土の芸術家と交流する。2018年に『更級日記』が千年紀を迎えるにあって、2011年に自分が考案したキャラクター『更ちゃん』と共に美術や工芸、哲学からの表現で親しんでもらおうと日々考案中で、その一貫として郷土の歴史・文化・観光などを子供たちや地域の方に伝えるために『いちはらの郷土かるた』を製作し、講演。	市原市/
1948年 (昭和23年)	ヨネスケ (本名；小野五六)	・落語家（4代目桂米丸の初となる直弟子となる） ・タレント（『突撃！隣の晩ごはん』のリポーターとして知られる）	市原市姉崎/姉崎中、市原高校卒
1949年	鈴木紀夫	冒険家（1972年、太平洋戦争終結後も日本の降伏を信じずにゲリラ活動を展開していた、残留日本兵の小野田寛郎に逢うために向かった。1974年に小野田との接触に成功。この接触により小野田の救出が現実味を帯び、3月に小野田は日本に帰国）	市原郡八幡/習志野高校卒、法政大中退

		<p>・雪男</p> <p>「雪男発見」に情熱を注いで雪男探しに訪れたヒラマヤで遭難 かつて「パンダ・小野田さん・雪男に会うのが夢だ」と語っていた。 著書；『大放浪：小野田少尉発見の旅』</p>	
1950年	近藤文子	<p>詩人（32歳で第一詩集「朝の虹」（1982年）を上梓。以後、「やさしさの旅人」「天からの音」「証」を上梓） 放送大学、千葉大学教育学部講師。「里山会」主宰。NPO法人ちば文芸フォーラム理事長。各地域の文化の継承と、健全な子供たちの育成を目的として、数多くの交流活動を行う。 千葉市立おゆみ野南小、市原市立ちはら台桜小、市原市立ちはら台西中などの校歌やミュージカルの作詞など幅広く活躍中。</p>	市原郡滝口/湿津小、湿津中、千葉女子高校、和洋女子短大卒
1953年	栗田宏武	チェーンソーアート（チェーンソーアートの世界チャンピオン）、いちほら観光大使	市原郡
1955年？	小関勇次	<p>教育者（高校教師、日本大学講師、清和大学特任教授）、「生涯大学校」の講師、市原市民大学講師、「鎌倉街道を歩く会」代表、2021年の「更級日記千年紀フォーラム」のパネリストの一人 主な著書；①仕事が見える地理学（共著）古今書院 平成20年、②おもしろ半島千葉（共著）千葉日報社 平成29年、③鎌倉街道を歩く・見る・学ぶ 鎌倉街道を歩く会 令和元年</p>	市原郡今津朝山/…小学校、…中学校、…高校、早稲田大学卒
1955年	米村でんじろう（伝治郎）	サイエンスプロデューサー（フジテレビ『でんじろうのTHE実験』他の多数の番組に出演）、いちほら観光大使	市原郡加茂村/…小学校、…中学校、市原高校、東京学芸大卒

1956年	中村典夫	プロ野球選手・コーチ（阪神タイガースにドラフト外で入団し4試合に出場、安藤統男二軍監督を影で支える。安藤の野球に精通し「影の二軍監督」との異名をとり、二軍守備・走塁コーチに就任）、同郷で同じテスト生という縁から掛布雅之と仲が良かった。	市原郡/千葉商業高卒
1957年	岡島一正	政治家（衆議院議員）	市原郡姉崎町/姉崎東小、 ・・中学校、・・高校、早稲田 大学卒
1959年	野崎進	野球選手（千葉商業高では主将兼エース、第59回全国高等学校野球選手権大会に出場。初戦で東洋大姫路高と対戦して敗れる。野崎は、この試合左打席で4打数3安打だった。右投げの投球では、縦のカーブを武器にした。1977年オフ、ドラフト外でヤクルトスワローズに入団）	市原郡/千葉商業高校卒
1960年 （昭和35年）	小出譲治	政治家（市原市長） 事業家（コイデ陸運株式会社代表取締役） 著書；「行政は経営だ 変革と創造のリーダーシップ」	市原郡青柳/千種小、五井 中、木更津高校、東海大学 短期大部卒
1961年	高田博久	野球選手（夏の甲子園千葉県予選では準々決勝に進出。市立銚子高と対戦するが、延長16回の熱戦の末、サヨナラ本塁打を喫し敗退。横浜大洋ホエールズでは中日ドラゴンズ戦にてプロ初勝利を挙げ、ヒーローインタビューで涙を流したことから「涙の1勝」と脚光を浴びた）	市原郡/千葉商業高、青山 学院大卒
1961年	安藤昌子	女子プロゴルファー（ヤマハレディース15位他）	市原郡/

1963年	市原市誕生	市原郡姉崎町・市原町・五井町・三和町・市津町が合併。1967年、南総町と加茂町を併合	
1964年	千葉公慈	仏教学者、教育者（東北福祉大学学長） 曹洞宗宝林寺（市原市朝生原）住職 市原市「いちほら観光大使」、千葉南税務署「税金広報大使」 テレビ、雑誌、講演などで仏教の教えや生き方を説く	市原市朝生原/駒沢大卒
1964年	はやて（西田秀樹）	プロレスラー（「みちのくトリオリーグ戦」で優勝）	市原市/城西大卒
1965年	鈴木誠	競輪選手（千葉経済大学付属高在学中から自転車競技を行っており、後に競輪学校に入学。1991年にはKEIRINグラプリに優勝し賞金王に輝いた。）	市原市/千葉経済大付属高校、競輪学校卒
1965年 （昭和40年）	石丸幹二	俳優（『半沢直樹』で注目を浴び、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」、NHK朝の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」、「アキラとあきら」（TVドラマ版、映画版）、NHK大河ドラマ「青天を衝け」、映画「太陽とボレロ」などにも出演している。2017年からは、「題名のない音楽会」の6代目司会者に就任し司会者（『題名のない音楽会』他）としても活躍。テノール歌手であり、劇団四季のミュージカルの看板俳優として活躍したことがある。）	市原市（新居浜市生まれ、4歳のときから市原）/有秋東小、姉崎小、幕張西高（現幕張総合）、東京音大中退、東京芸術大卒
1966年	内田真由美	女子プロゴルファー（ダンロップレデイス50位）	市原市/姉崎高校卒
1967年	石井正忠	サッカー選手（鹿島アントラーズ時代の1993年にはサントリーシリーズを制覇） 監督（鹿島アントラーズ時代、年間優勝を達成）	市原市/市原緑高校、順天堂大卒
	飯島勝矢	医師・医学者（東京大学高齢社会総合機構教授他） 2022年、市原市市民会館で「フレイル予防講演会」を開催	市原市/1990年慈恵医科大卒

1969年	石井真	野球選手（投手、広島東洋カープ他）	市原市/秀明八千代高、八千代国際大学卒
1970年	城島茂	タレント、音楽家、アイドル、俳優、司会者、ギタリスト、ニュースキャスター、実業家。（TOKIOの最年長メンバーで、ギター、コーラス（主に高音）、およびリーダーを務める。株式会社TOKIO所属で、同事務所の代表取締役社長）	市原市（五井生まれで生後まもなく奈良県大和郡山田市に）/奈良商業学校卒
1970年	木村さおり	フリーアナウンサー、ラジオパーソナリティー	市原市/市原中央高、東洋大卒
1971年	中原果南	俳優（仲代達也の『無名塾』所属。東海テレビ製作のドラマ『はるちゃん』では初主演（伊藤洋子役）を果たす、テレビ「暴れん坊将軍」や「水戸黄門」他に出演。タレントの「千秋」は姉崎東中の同級生である。	市原市/姉崎東中、桜町高校卒
1971年	千秋 （ちあき、藤本千秋）	女性タレント、歌手、西友、デザイナー、ものまねタレント、文筆家、作詞家。番組制作会社・「SHOW-GUN」の専務取締役。 いちほら観光大使	市原市青葉台/青葉台小、姉崎東中、千葉北高校、青葉学院短期大学卒
1972年	miyuki （中島美由紀）	歌手、ピアニスト、作曲家	市原市/国立音楽大卒
1973年	大沢幹朗	アナウンサー、リポーター、ナレーター（『国際報道2014』等の報道番組での実況、司会、リポーター、ナレーション、ボイスオーバーを手掛ける）	市原市/昭和学院秀英高等学校、早稲田大卒
1973年	山岸佐知子 （旧姓；馬場）	サッカー審判員（日本で二人目の1級審判員、国際サッカー連盟公認の女子国際主審に選出され、国際大会で主審を務め、2015・FIFA女子ワールドカップに選出された。2010年から2013年まで4年連続でAFCアニュアルアワードのアジア年間最優秀女子レフェリーに選ばれている（通算5回）	市原市/

1974年(昭和49年)	市原市市民会館を開館	1527席の大ホール、小ホール、会議室等の多目的ホールとして開館	
1974年	石渡鉄平	ボートレーサー(通算2000勝を達成)	市原市/木更津高校
1974年	多田昌弘	野球選手(拓大広陵高3年の第74回全国高等学校選手権大会にはエース富樫、杉本、紺野、多田の4人で投手陣を組み準優勝。広島東洋カープに6位指名、現在は阪神タイガースのバッティング投手)	市原市/拓大紅陵高校卒
1974年	川嶋勝重	プロボクサー(WBC世界スーパーフライ級王者)	市原市/長南高校卒
1974年	石川昭人	放送作家。個人事務所株式会社φ(ふぁい)代表取締役	市原市生まれ、さいたま市出身/埼玉県立浦和高校卒
1976年(昭和51年)	仁藤和良(にとうかずよし)	実業家、人材・組織開発コンサルタントの株式会社ビヨンドを設立し、代表取締役社長に就任	市原市/市原中央高校、早稲田大卒
1976年	門脇英基	総合格闘家(第7代修斗世界フェザー級王者)	市原市/
1976年	星野真人	観光農園・星野農園代表、(カフェテラス、ブルーベリー狩り、バーベキュー、森林浴他)、高滝で水稻、ブルーベリー、サツマイモ他栽培を行い、五井でのまちづくりにもかかわる。 モットーは過疎地域で地域の魅力を再発見し、磨き続けることで地域活性すること	市原市青葉台/青葉台小、姉崎東中、市原中央高校、武蔵工業大学卒
1977年	石井弘寿	野球選手(ヤクルトスワローズの投手で通算27勝15敗、オリンピック、WBCの日本代表)	市原市/東京学館高等学校卒
1977年	猫ひろし(滝崎邦明)	・お笑い芸人	市原市潤井戸/市原八幡高校、目白大卒

		・マラソン選手（カンボジアに国籍を移し、2016年リオでジャネイロオリンピックのカンボジア代表に選出される） いちほら観光大使	
1979年	瀬藤幹人	ボクサー（日本スーパーバンタム級暫定王者）	市原市/千葉経済大学附属高校、日本体育大卒
1979年	森さやか （森清佳）	女性アナウンサー（北海道テレビで『イチオシ!』の2代目MC）	市原市/学習院大学卒
1979年	牛抱せん夏（うしだききせんか、本名；牛抱千夏）	女優、怪談師（「怪談グランプリ 2010」に優勝したことをきっかけに、怖さや怪しさを感じさせる物語を語る「怪談師」の活動を開始する。祖父母たちから受け継いだ怖い話や怖さを感じた自他の実体験を基にした怪談を得意としている） 地元の南総公民館では毎年夏休みに「怖いお話会」を行っている。 主な著書 ・「千葉怪談」・「呪女怪談」・「実話怪談 呪紋・千葉の怖い話～亡霊たちの集い～」	市原市牛久/君塚小、内田小、南総中学、東海大望洋高卒 2歳まで長野県野沢温泉村の母親の実家で暮らす
1980年	米田夕歌里	小説家（宮崎陽名義のデビュー作『トロンプレイユの星』で第34回すばる文学賞を受賞）、塾講師	市原市/早稲田大学卒
1980年	吉田康一	劇作家・演出家。演劇団体 Antikame? 主宰。日本劇作家協会事業委員、リーディング部・せりふワークショップ担当委員。日本演出者協会会員	市原市/千葉西高、日本大学卒
1980年	根本はるみ	グラビアアイドル	市原市/
1981年	釣井智子	ヴァイオリニスト。3歳からヴァイオリンを習い始め、国分寺台小学校5年生のときから「市原フィルハーモニー管弦楽団」のメンバーとなり、現在は同楽団のコンサートミストレス（女性の*コンサートマスター）を務める。同楽団から生まれた四重奏団『ハートキャッチ』に所属し、市内でロビーコンサートや公民館での出前	市原市/国分寺台小学校、

		コンサートなど、クラシック音楽の普及に尽力している。またプロの演奏家も集る『コバケン（小林研一郎）とその仲間たちオーケストラ』にも所属。 *コンサートマスターとは管弦楽団の各奏者を統率して、指揮者の意図を音楽に具現する役職。いわば「第2の指揮者」。第1 ヴァイオリンの首席奏者が務めるのが通常である。	
1981年 (昭和56年)	三上尚子	女子サッカー選手（元日本代表。三井千葉 SC ジュニアユースから日興証券女子サッカー部ドリームレディースに加入。廃部に伴い田崎ペルーレに加入。この時代の2001年にはリーグのベストイレブンに選ばれた） 監督（2014シーズンよりジェフ千葉レディースの監督に就任し、2017年には『なでしこリーグ杯』で優勝し、1部でのクラブ史上初タイトルを獲得）	市原市/
1981年	青山博一	オートレーサー（2003年全日本ロードレース選手権 GP250年間王者、2009年ロードレース世界選手権 250cc クラス年間王者。最高峰 MotoGP クラスを4年間走り、現在は HRC（ホンダレーシング）のテストライダー兼イデミツ・ホンダ・チームアジア監督） いちはら観光大使	市原市/
1982年	植草祐樹	サッカー選手（川崎フロンターレ、ヴィッセル神戸他に所属）	市原市/菊間小、菊間中、市立船橋高校、早稲田大学卒
1982年	小出稚子 (こいでのりこ)	作曲家（現在デンハーグ王立音楽院在学中。第3回、第5回東京音楽大学学長賞受賞。CCMC2007入選。『クセランパサラン』にて第17回芥川作曲賞受賞、『南国の魚、極彩色の夜』にて第76回に本音楽コンクール作曲部門2位、岩谷賞受賞。第18回出光音楽賞受賞。2012年アリオン賞など受賞）	市原市/千葉高、武蔵野音大卒、アムステルダム音楽院に留学

1984 年	工藤浩平	サッカー選手（ジェフユナイテッド市原他、日本代表）、「姉ヶ崎のマラドーナ」といわれた）	市原市ちはら台/清水谷小、姉崎高校卒
1984 年	大久保裕樹	サッカー選手（市立船橋高時代、主将として全国選手権で優勝、サンフレッチェ広島他に所属）	市原市/市立船橋高校卒
1984 年	栗生隆寛	ボクサー（WBC 世界スーパーフェザー級王者。世界 2 階級制覇王者）	市原市/習志野高校卒
1984 年	青山周平	オートレーサー（通算 101 回優勝）	市原市/
1985 年	岡田大	サッカー選手（三井千葉 SC, F C ホリコシ/アルテ高崎他に所属）	市原市/五井小、五井中、関東第一高校、創造学園卒
1986 年？	田中美里	第 7 回（1998 年）千葉音楽コンクール優秀賞（小 6）、第 3 回東関東ピアノオーディショングランプリ、千葉県教育長賞。第 2 回全関東ピアノオーディション銀賞。第 1 回ジュラ・キシユ国際コンクール入選。グランドナンシーアカデミーにおいて、ヤングソリストに選出され、ナンシー（仏）各地で演奏会を行う。2025 年現在、コンドー楽器講師として後進の指導にあたりながら、演奏活動を続けている。	市原市/市原中央高校、東京音楽大学ピアノ演奏家コースを経て、同大学院卒、桐朋学園大学院大学卒
1986 年	佐藤誓哉	サッカー選手（三井千葉 SC, VONDS 市原）	市原市/辰巳台中、市立船橋高、中京大卒
1987 年	村山智彦	サッカー選手（三井千葉 SC, 松本山雅 FC 他に所属、ベスト 11 に選ばれたことがある）	市原市/市立船橋高校、静岡産業大卒
1987 年	伊藤大介	サッカー選手（ジェフユナイテッド市原他に所属、ユニバシアード日本代表）	市原市/五所小、八幡中、検見川高校、順天堂大卒

1988年	新井麻衣	女子プロゴルファー（2005年中国ジュニアオープン 優勝、2007年 中部女子アマチュアゴルフ選手権 優勝、ベストスコアはダイキンオーキッドレディース 2R で67)	市原市/福井工業大学附属福井高校卒
1988年 (昭和 63年)	鳥養祐矢 (とりかいゆうや)	・サッカー選手 (レノファー山口 FC 他) ・政治家 (山口市議会議員)	市原市/市原八幡高校、国際武道大学卒
1988年	文化財・「王賜」 銘鉄剣発見	古墳時代中期中葉とされる日本最古の銘入り鉄剣「王賜」銘鉄剣が山田橋の稻荷台古墳から発見される。銘文は(表) 王賜 敬 [安]) (裏) 此廷 [刀]、重文級とされる。	
1989年	遠藤敬祐	サッカー選手 (菊間フットボールクラブ、U19 日本代表、水戸ホーリーホック他)	市原市/
1989年 (昭和 64年/平成元年)	桐谷美鈴 (本名は松岡さや紗)	モデル、タレント、女優 news every. のキャスター (高校1年生の時に「千葉のナンバーワン美少女」としてスウィートパワーにスカウトされた。)	市原市/国分寺台中、千葉東高校、フェリス女学院大卒
1990年	星野拓海	・バスケットボール選手 (千葉ジェッツに所属) ・指導者 (市立船橋高校の男子バスケット部の監督)	市原市/有秋中、市立船橋高校、筑波大学卒
1990年	杉野明子	パラバドミントン選手 (パラバドミントン選手権大会 2017 で優勝、東京パラリンピックでシングルスとダブルスで銅メダル獲得)	市原市/八幡中、市原八幡高等学校、淑徳大卒
1990年	上総国分尼寺 跡復元	上総国分尼寺跡は市原市が古代上総国の政治、文化の中心地であったことを象徴する歴史的文化遺産であり、この貴重な文化遺産を後世に伝え、ふるさとの歴史や文	

		化を見直し体験できる場として史跡の整備を開始。中門（ちゅうもん）が1993年度に復元公開され、そして中門と金堂を結ぶ復元回廊が、1999年度に完成。1993年、その一角に「史跡上総国分尼寺跡展示館」が開館した	
1990年	柿崎あやの	ソフトテニス選手（全日本女子選抜ダブルス優勝（ペアは黒木瑠璃華））	市原市/ちはら台南中、福岡県立若松高、日本体育大卒
1991年	市原市立中央図書館が開館	この年に開館し、2024年にはトイレの洋式化、オストメイト（人工肛門保有者や人工膀胱保有者用）、ベビーチェアの設置、グループ学習ルームへの改装、視聴覚資料（DVD・CD）の1階への移転などをおこない、リニューアルオープン。この他に市内には10か所の公民館と5か所のコミュニティーセンターに読書施設がある。	
1991年 （平成3年）	長澤和輝	サッカー選手（全国高校選手権大会で優秀選手に選ばれた。ベガルタ仙台他に所属）	市原市/清水谷小、八千代高校、専修大卒
1991年	柚木彩見 （ゆずきあやみ）	女優（日本映画；『シン・ゴジラ』他、舞台；『LOOP THE LOOP』他、テレビ；『中居正弘の金曜日のスマイルたちへ』他）	市原市/
1991年	遠藤由佳子	NHKのキャスター（NHK千葉で首都圏ネットワークやおはよう日本他）、気象予報士、第22代「ミス椿の女王」	市原市（5歳から川崎市）/東京理科大卒
1991年	『市原市楽友協会オーケストラ』発足	「市原にオーケストラを」と『市原市楽友協会合唱団』とともに設立。「文化芸術の力でちはらをもっと元気にしたい」との思いで発足し、夏にはオーケストラ単独の演奏会を行い、冬にはオーケストラと合唱共演の演奏会を実施。	

		2024年12月15日の第52回市民コンサートでは市原市楽友会合唱団（松永広光団長）と共演。指揮山本康童、コンサートミストレス大内晴美、ソプラノ経塚果林、アルト中川香里、テノール隠岐速人、バス後藤春馬が招待された。	
1992年	プロサッカーチーム「ジェフユナイテッド市原」発足	この年日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が発足。この時に加盟した10クラブをオリジナル10と称するが、そのうちの一つがジェフユナイテッド市原（現ジェフユナイテッド市原・千葉）である。	
1992年	女子サッカーチーム「ジェフ千葉レディース」発足	市原市、千葉市をホームタウンとしているWEリーグに所属する女子サッカークラブ「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」が発足。呼称を「ジェフ千葉レディース」としている。	
1992年	市原フィルハーモニー管弦楽団発足	市原市を拠点に活動しているアマチュアのオーケストラ。2024年現在は2年に3回の定期演奏会と、その合間に内輪向けの室内楽コンサートを開催。メンバーは市原市在住者が中心だが、千葉市やもっと遠方から参加しているメンバーもいる。2024年現在における常任指揮者；小出英樹（帝京大客員教授）、団長；大箸義章、コンサートミストレス（オーケストラの演奏をまとめる第一ヴァイオリニスト）；釣井智子&下羽恵理子	
1992年	成田美寿々	女子プロゴルファー（通算13勝、2024年現在で生涯獲得賞金5億円をすでに達成済み）	市原市/ちはら台南中、拓大紅陵高校卒、日本体育大学中退
1992年	高嶋活士	パラ馬術選手（東京パラリンピックの馬場馬術代表、パラ馬術競技個人グレード4に出場、14位）	千葉県/ちはら台南中

		「市原市スポーツ特別賞」を贈呈される。	
1993年	小島瑠璃子	バラエティータレント、司会者、スポーツキャスター、元グラビアモデル	市原市/清水谷小、ちはら台南中、千葉東高校卒、共立女子大中退
1993年	積田景介	サッカー選手(市立船橋高時代に全国サッカー選手権で優勝に貢献、SHIBUYA CITY FCと契約)	市原市/五井小、五井中、市立船橋高、駒沢大卒
1993年?	亀井友莉	バイオリスト(「高嶋ちさ子12人のバイオリスト」の元メンバー)、テレビ「徹子の部屋」など出演 いちはら観光大使 (広報いちはら「この街あの人この人」、千葉日報他より)	市原市育ち(福岡県生まれ)/東京音楽大付属高、東京音楽大卒
1994年	今瀬淳也	サッカー選手(「青葉台フットクラブ」や「三井千葉サッカークラブ」に所属、市立船橋高校時に全国総体で優勝、「カターレ富山」他に所属)	市原市/市立船橋高、国士館大卒
1994年	山内鈴蘭	タレント(SKE48およびAKB48の元メンバー、山内鈴蘭の“らんらん”ゴルフ講座他)、市原市のプロモーション動画「山内鈴蘭のロケハン in 市原市」に出演、いちはらプロモーション大使 芸能界No.1の女子ゴルファーとされ、ベストスコアは76	市原市/日出高卒
1996年	木村優里	ダンサー(新国立劇場バレエ団のプリンシパル、『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』『シンデレラ』『竜宮りゅうぐう』といった作品で次々と主役を踊る。 (広報いちはら令和5年1月号「この街あの人この人」欄に掲載)	市原市/

1997年	郡司裕也	野球選手（小学校時にはロッテマリーンズジュニアに選出され、中学時に千葉県リトルシニアで全国優勝、仙台育英高では全国準優勝、慶応義塾大学時には神宮大会で優勝、中日ドラゴンズや北海道日本ハムファイターズで活躍）	市原市ちはら台/水の江小、ちはら台南中、仙台育英高、慶応義塾大卒
1997年	小川和沙	柔道家（東京パラリンピック女子70キロ級で銅賞を受賞） 「市原市市民栄誉賞」を贈呈される	市原市/五井中、千葉盲学校高等部卒
1997年	千葉 (高山将明)	ギタリスト	市原市/千葉西高、東京スクールオブミュージック専門学校
1998年	桃野美桜	女子プロレスラー（第17代AAAWシングル王座・第22、24代WAVEタッグ王座・第11代センダイガールズワールドタッグチームチャンピオンシップ・第29代OZアカデミー認定無差別級王座）	市原市/
1998年	齋藤伸治	プロ野球選手（日本ハムファイターズ）	市原市/習志野高校、東京情報大学
1999年	柏木ひなた	<ul style="list-style-type: none"> 歌手（2020年11月1日放送のテレ朝系「関ジャム完全燃SHOW」で「令和アイドル界スゴいボーカリスト10人」に選出された。楽曲は『永遠のトリニティー（三位一体）』『puzzle』 アイドルグループ「市立恵比寿中学」の元メンバー 女優（2015年公開の映画『脳漿炸裂ガール』では主演・市位ハナ役を務めた タレント（MBSラジオ『エビ中☆なんやねん』のメインMC他） 	市原市/
生年不詳 (2018年	遼美来	宝塚歌劇団106期生（2018年4月に宝塚音楽学校に入学、2020年3月に同校を卒業後、宝塚歌劇団に入団した39名を指す）	市原市/志学館高校、宝塚音楽学校卒

宝塚音楽学校に入学)	(りょうみる)	2020年の初舞台は『WELCOME TO TAKARAZUKA』	
2001年	本橋洋斗	けん玉プレイヤー (18歳のとき、けん玉プレイヤーが世界中から一同に会する北米最大のけん玉の祭典、「North America Kendama Open2019」で優勝、趣味の自転車によく高滝湖に立ち寄るといふ。	市原市/
2002年	石渡翔一郎	ボートレーサー (ボートレーサー養成所チャンプに輝く、2020年にデビューし、すでに通算20勝を達成)	市原市/木更津高校卒
2002年	笠原朱里	ソフトボール選手 (2017年のU16カナダ杯の日本代表に選出され優勝、2019年開催の第13回女子U19ワールドカップにも出場、2023年題回アジア女子大学選手権大会でも優勝に貢献)	市原市/牧園小、ちはら台西中、千葉経済大付属高、日本体育大卒
2004年	房州山 (東海有真)	大相撲力士 境川部屋 序二段 生涯戦歴 (26場所) 75勝 93敗 21休	市原市/
2005年	安藤阿雄依	サッカー選手 (U16, 17日本代表、清水エスパルス他に所属)	市原市/国分寺台東小、国分寺台中、静岡サレジオ高卒
2005年	佐田の城 (山口慶太)	大相撲力士 境川部屋、序二段 生涯戦歴 (26場所) 45勝 87敗 38休	市原市/
2005年	アンサンブルのトリオグループ	市原市を拠点に市役所のロビーコンサート、学校や保育園でのコンサート、病院や福祉施設、レストランや飲食会でのコンサート、結婚式等の演奏等で活動している。	

	「フローラ」を結成	<p>2024年8月、姉崎公民館でヴァイオリンの大内晴美、フルートの清水圭子、ピアノの齋藤由美子の3氏が演奏。</p> <p>3氏のプロフィール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大内晴美；東京音楽大ピアノ科卒。ヴァイオリンは幼少の頃より演奏していたが、大学で副学として学ぶ。市原市楽友協会オーケストラのコンサートミストレスを務めるほか、チェロ&ピアノとのトリオ演奏などアンサンブルも活発に行っている。 ・清水圭子；国立音大。市内の音楽教室でフルート講師を務め、現在は各種音楽活動を活発に行っている。市原市楽友協会オーケストラ、茂原交響楽団メンバー。 ・齋藤由美子；桐朋学園大ピアノ科卒。ウイーン国立音大セミナーで研鑽を積む。ソロリサイタルやリクルート混成合唱団演奏会ピアニスト、京葉混成合唱団、かずさコールなど多くの演奏会に出演。後進の指導にもあたっている。 	<p>出身地不詳。</p> <p>市原市ゆかりの人物</p>
2007年	森みみ	アーチェリー（オリンピック強化選手） （広報いちはら）	市原市/ちはら台西中
2007年	高田優妃	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、オーストラリア、アメリカに留学）	市原市馬立（東京生まれ） /アオバジャパン・インターナショナルGLD、オンライン・コース
2008年 （平成20年）	古賀魁気 （こがかいき）	プロスケートボーダー（2022年、14歳にてプロの資格を獲得） （広報いちはら, シティライフ）	市原市/五所小、八幡中

2009年	「上総いちはら国府祭り」がスタート	市民のふるさと市原に対する誇りや郷土愛を育むことを目的とした、市原市最大のお祭りを開始	
2009年	清藤羽琉	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、2023年日本ジュニアゴルフ選手権競技女子12～14歳の部で7位）	市原市ちはら台/ちはら台西中
2010年	根本悠誠	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、世界最大のジュニアゴルフ大会「USキッズゴルフ世界選手権」（IMGA）5勝）、ゴルフの天才と称され、アメリカに留学	市原市高滝（転入）/加茂学園、IMGアカデミー
2010年	東海大市原望洋高校野球部、甲子園出場	選抜大会に出場、惜しくも初戦で敗れる。	
2011年	「夢の架け橋コンサート」発足	市民の日（10月1日）記念事業として、市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、全国大会・東日本大会・千葉県大会及びコンクールなどに出場して活躍された学校にその成果を広く市民に披露できる場を提供すると共に一般市民がそれらを聴くことにより市原市の音楽芸術文化の向上を目指すものである。	
2011年	「VONDS市原FC」発足 通称「ボンズ」	VONDS市原FCは、千葉県市原市をホームタウンとする社会人サッカークラブ。Jリーグ加盟を目指すクラブの一つである。1967年創設の古河電気工業千葉事業所サッカー部が母体となる。2020年にJリーグ百年構想クラブとして承認された。クラブ名は「絆」の英訳「BOND」の頭文字を「勝利」のVに変え、複数形とした造語である。	

2013年	「いちほら市民大学」発足	<p>市原市生涯学習センター主催の「いちほら市民大学」は、『市原をもっと知りたい』『仲間づくりをしたい』『地域のために何かをしたい』など、そんな市民の要望に応えるための2年制の学習講座。</p> <p>ふるさと市原について理解を深めると共に、市原で自分たちが出来ることについて、楽しみながら学ぶ。2025年3月までに、660名以上の受講生が卒業し、自発的にグループを立ち上げたり、既存の地域活動団体に参加したりと、様々に活躍している。</p> <p>2025年現在、専門講座として防災コース、アートコース、いちほら健康大使コース、こども支援コース、環境コース、消費生活コース、歴史文化リエゾンコースがあり、この他九つの教養講座の中からも選択できる。</p>	
2014年	東海大付属市原望洋高校野球部、甲子園出場	夏の選手権大会に出場、惜しくも初戦で城北高校（熊本）に敗れる。	
2015年	近藤大河	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、2023年の世界最大のジュニアゴルフ大会「US キッズゴルフ世界選手権」（IMGA）の7～8歳の部に出場し優勝）	市原市高滝（転入）/加茂学園
	根本将誠	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、2023年の世界最大のジュニアゴルフ大会「US キッズゴルフ世界選手権」（IMGA）の7～8歳の部に出場し24位）	市原市高滝（転入）/加茂学園
2016年	南愛美	ゴルファー（市原市ジュニアゴルフ協会の強化指定選手、2024年8月1～3日に行われた世界最大のジュニアゴルフ大会「US キッズゴルフ世界選手権」（IMGA）の8	市原市高滝（転入）/加茂学園

		歳女子の部に出場し、通算 10 アンダーの好スコアで優勝した。昨年の同大会で 7 歳以下の部を制したことから連覇を成し遂げた)	
2017 年	VONDS市原FCレディーズ創設	関東女子サッカーリーグ 1 部に所属し、なでしこリーグ昇格を目指して戦っている。	
2017 年	東海大付属市原望洋高校の野球部が甲子園出場	春の選抜大会に出場、惜しくも初戦で滋賀学園に敗れる。八千代市出身のエース金久保優斗がヤクルトスワローズに入団し活躍。	
2017 年	「みらいを奏でる音楽会」市原公演がスタート	2024 年 12 月 21 日、市原市市民会館で「みらいを奏でる音楽会 2024 市原公演」が開催される。2020 年に若手実力派の音楽家たちで結成された「タクティカートオーケストラ」による演奏。 出演者；指揮米田覚士、トロンボーン藤原功次郎、ピアノ北村明日人、バイオリン金子昌憲、その他	
2019～2200 年	更級日記と市原市の歴史遺産の周知活動を開始	『更級日記』（さらしなにつき）の著作で名高い菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ、孝標は市原の国分寺台辺りにあったとされる上総国府の国司として赴任していた）の生誕千年にあたり、周知活動を開始する。	
2020 年	「更級日記千年紀文学賞」を開始	文学賞を通じ、書く楽しみや読む楽しみを感じ、文学に励まされ心豊かになること、そして、市原の魅力や愛着を感じてもらうことを目指す	

2020年	地質時代「チバニアン」の命名が決定	77.4万年前から12.9万年前にあたる、地質時代の一つ。2020年1月15日に国際地質科学連合により「チバニアン」（千葉時代）と命名された。2022年5月21日に市原市田淵の地層に時代境界となるゴールドenspイクが設置された。地質時代唯一の日本名。 2026年までに現地のガイダンス施設等を整備する計画であり、2022年8月には限研吾建築都市設計事務所がその設計を受託した。	
2021年（コロナ感染症で延期）	「更級日記千年紀フォーラム」を開催	9月、開催。パネリスト；①作家・太宰治子氏（太宰治の孫）②教授・小関勇次氏③編集者・竹下亜紀氏、④元NHKアナウンサー・加賀美幸子氏⑤国文学者・島内景二氏	
2022年	市原歴史博物館の開館	市の歴史遺産の価値と魅力を分かりやすく伝え、市民の歴史・文化活動や交流を支える拠点施設	
2022年	市原市文化交流施設整備基本構想を策定	五井駅から徒歩10分程度の位置の更級通りに面した地域に市民会館や生涯学習センター等を整備集約する文化交流施設の整備構想で、2032年使用開始を目指している。	
2024年	「エンジン01(ゼロワン) in 市原」を開催	1月26日～28日、帝京平成大学や市原市市民会館等にて、文化、芸術、スポーツから経済など、市長や各分野の第一線で活躍する有識者たち128名がボランティアとして市原市に集結し、様々なテーマに沿った講座やイベントを開催。また市内飲食店で夜学（講師と語り合う）を開催。	
2024年	東海大付属市原望洋高校の吹奏学部が最優秀賞を受賞	コンクールで過去を上回る受賞（第24回東日本学校吹奏楽大会銀賞を受賞、第30回東関東吹奏学コンクール金賞を受賞、第30回日本管楽合奏コンクール最優秀賞を受賞）	

		12月、1年間の活動の集大成としてクリスマスを彩る定期演奏会を継続しているが、今年も湯川千鶴子指揮による第23回定期演奏会を開催	
2024年	「いちほら子ども未来館」誕生 (weほーる)	子ども・子育て支援の総合的な拠点施設として誕生。0～2歳までのお子さまと保護者の方がくつろぐことができる「子育てサロン」、3歳から小学校低学年のお子さまも遊ぶことができる「プレイルーム」があり、保育士や看護師のスタッフが見守りをしてくれる。1歳から6歳（未就学児に限る）のお子さまをお預かりする託児サービスもあり、0歳のお子さまも15分限定でお預かりできるママパパブレイクタイムも設けている。	
2025年	「エンジン02(ゼロツー) in 市原」を開催	2月1～2日、市長や各分野で活躍する有識者たちのボランティアにより、オープニングシンポジウム、一般講座、ハローワーク・親子向け特別講座を市原市市民会館、いちほら子ども未来館（weほーる）にて開催。また市内飲食店で夜学（講師と語り合う）を開催	

○生年不詳の市原市出身有名人

名 前	プロフィール	出身地/卒業校
中山育美 (アート名: ikuiro)	<p>胞子画家 (パステルや水彩、アクリルや油絵など様々な手法で画を描く、木更津駅西口で階段アート、市原湖畔美術館他でライブペイントを披露、また茂原公園で開催の『森のパレード』や、市内の内田未来楽校で開催の『うまれる うみだす 芸術生誕祭』で公演)</p> <p>市内三和地区糸久にオープンした『ikuiro gallery』に自作品を常設。 銀座で個展を開催したことがあり、2025年4月末には青山で個展を開催。</p>	市原市姉ヶ崎/地元の高校、阿佐ヶ谷美術専門学校卒

	<p>子ども達に画を描く楽しさを伝え、表現することを楽しむ空間を作ることを目的に、白塚保育園他で造形教室の講師をしている。</p> <p>孢子画家；目に見えないものを色にして絵にする。</p>	
--	--	--

参考資料

- ・「千葉県市原市出身の有名人」（芸能人・歌手・スポーツ選手など）」
- ・「市原市出身の有名人 | 有名人ナビ・出身都道府県編」
- ・「市原の郷土史 7 5. 川上南洞の碑文」
- ・市原市ジュニアゴルフ協会資料（ジュニアゴルファーの出身他）
- ・『義僕・市兵衛記』雑感」
- ・市原市の姉崎公民館講座資料「フローラコンサート」
- ・市原市の姉崎公民館講座資料「浮世絵で歴史散歩 相撲絵の力士たち」
- ・市原市の市民大学講座資料「南いちはらの思い出」他
- ・コンサートのパンフレット
- ・極一部のプロフィールは御本人が講座等で発言された内容、また御本人に直接確認し本資料に掲載することの了承を得た内容を記入

- ・広報いちはら
- ・千葉日報
- ・大室晃著『市原人物譚』
- ・「市原の『お竹騒動
- ・「シティライフ」市原版
- ・ウィキペディア

以上